

# ユアプレイス（多機能型福祉施設）

燃えしろ設計の連続柱が吹抜を支える地域に開かれた事業所



## ■ 建築概要

**所在地** 茨城県つくば市上ノ室1560-1  
**構造・階数** 木造2階建て  
**事業費** 136,300 千円  
**工期** 令和5年3月～令和5年10月  
**施工者** 株式会社大貫工務店

**施設用途** 障害児通所支援事業所、障害福祉サービス事業所  
**延床面積** 368㎡  
**木工事費** 36,160 千円  
**設計者** Live Haus 建築設計所・高橋建築構造設計室  
**木材供給者** (株)角幸 (株)野上製材所 (株)銚田製材所  
 (有)皆川製材所 (株)林産 (株)荒川材木店

## ■ 施設の概要・特徴

本施設は筑波山を望む田園風景のエッジに建つ木造準耐火構造の通所型の社会福祉施設であり、放課後等デイサービス、就労継続支援B型と生活介護など、多機能な福祉サービスを、利用時間帯の違いを利用して、ひとつの器に共存させる試みである。障害の有無も含め、様々な人々が共に過ごせる居場所づくりを目指し、北にも南にもそして地域にも開こうという意思を体現すべく両向きのたたずまいとした。

## ■ 使用した木材や工夫した点

調達しやすさを踏まえ、梁成 $\leq$ 330mm、材長 $\leq$ 6mの県産スギ製材による架構計画とした。特に吹抜を支える耐風柱であり、合板耐力壁の下地材(耐震要素)であり、かつ準耐火性能を担保する燃えしろ柱も兼ねる連続柱(=壁柱)の扱い方を工夫した。通し柱材は、120mm角と150mm角のスギ製材、150×750mmの5段重ねのスギBP柱の3種類で、耐震性能や燃え残り断面で負担できる重さなどを勘案しつつ、適材適所で使い分ける計画とした。例えば外周部の吹抜を支えるのはスギ製材の通し柱で、120mm角を連続させた片面燃えしろの壁柱である。他方、両向きのボリュームを区切る中央の斜め壁は、建物を貫いて柱等の木材が外部まで連続するかたちとし、4面燃えしろにも耐えられるようBP柱を中心に構成した。外部に面する部分は製材150mm角を連続させ1面燃えしろの壁柱とし、残りの部分は告示仕様の石膏ボード両面張りの中空壁の上に杉板を張った配線可能な板壁とし壁柱やBP柱との視覚的・素材的なつながりを担保するデザインとした。

樹種	使用量 (うち 県産材)	使用部	備考
スギ	66.96㎡ (64.02㎡)	柱・梁・タルキ・ 間柱・ルーバー等	
ヒノキ	6.29㎡ (5.78㎡)	土台・大引	
その他	26.18㎡ (0.00㎡)	床板、家具、 野地・壁等合板	
計	99.43㎡ (69.80㎡)		

